

### 事務局からのお知らせ ①

平成 29 年度木育ネットワーク部会勉強会  
木について、子どもについて、おもちゃについて、今よりもちょっとスキルアップ♪

#### (1) 木工のイロハ教室

内容：木工の基礎を3回に分けて学びます

日時：平成 29 年 9 月 27 日 (水) 13:30 ~ 16:00 ... ① のこぎり

10 月 25 日 (水) 13:30 ~ 16:00 ... ② カンナ

11 月 22 日 (水) 13:30 ~ 16:00 ... ③ 組み立て方

講師：宮崎大学教育学部技術教育講座 教授 藤元嘉安 先生

会場：宮崎大学 木工室

定員：各回 10 名

#### (2) 子どもの発達とおもちゃ

内容：身近なモノや市販のおもちゃを用いて実際に体験しながら学びます

日時：平成 29 年 8 月 30 日 (水) 13:30 ~ 16:00

講師：宮崎県立看護大学 小児看護学 講師 甲斐鈴恵 先生

会場：宮崎県立看護大学 多目的ホール

定員：30 名

#### (2) 子どもが遊べる木のおもちゃ

内容：実際に遊び体験したうえで小さな木のおもちゃを製作します

日時：平成 29 年 9 月 5 日 (火) 19:00 ~ 21:00

講師：宮崎国際大学 准教授 守川美輪 先生

会場：原口保育園 (宮崎市佐土原町下那珂 3422)

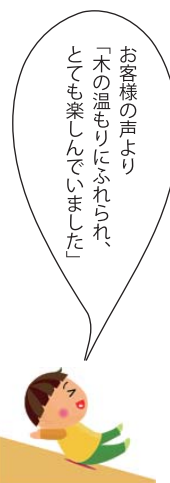
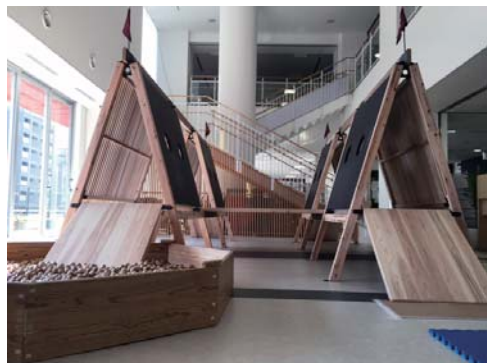
定員：20 名



#### お申し込み方法

ご希望の講座名(木工のイロハ教室は希望日時も)、お名前、電話番号、メールアドレスをご記入の上、宮崎県森林林業協会へ Fax でお申し込みください。  
Fax 番号 0985-25-2398

### 県産スギ材利用プロジェクト 子どもへの木質空間「こどものあそびば」設置!



お客様の声より  
「木の温もりがふれられ、とても楽しかったです!」

㈱内田洋行とパワープレイス(株)の知見を活かし、県産材で宮崎らしい子ども向けの空間製作の企画が平成 28 年に持ち上がり、県内の企業も加わり打合せや試作を繰り返し、平成 29 年 3 月にみやぎきアートセンター (宮崎市) にモニターとして設置されました。かくれんぼやすべり台として遊ぶほか、キッズルーム内に設置している遊具などを持込み隠れ家のようにして遊んだり、床下も活用して遊ぶ姿が見られます。

#### 木育ネットワーク部会とは

豊かな森林を次世代に引き継いでいくには、県民一人ひとりが、木材の良さや利用することの意義について理解と認識を深め、県民全体で県産材の地産地消に取り組むことが重要であることから、みやぎき木づかい県民会議を平成 25 年 2 月に設置し、木づかい運動を進めて来ました。

木づかい運動を進める上では、子どもたちを中心に木に触れ親しむ機会や、森林・林業、木材、資源循環について分かりやすく伝える機会を創出する木育活動を進めることが非常に大切であることから、木育に積極的に取り組む企業・団体・行政等の参画による木育ネットワーク部会を設置いたしました。

#### お問い合わせ

みやぎき木づかい県民会議 木育ネットワーク部会 事務局  
宮崎県森林林業協会・宮崎県山村・木材振興課みやぎきスギ活用推進室  
〒880-0802 宮崎市別府町3番1号 宮崎日赤会館2F TEL: 0985 (27) 7682 / FAX: 0985 (25) 2398  
※木育かわら版の発行には「森林環境税」が活用されています。

# 木育 MOKUIKU かわら版

知ろう、使おう、広げよう、みやぎきの木



木に触れて、木と遊び、木を学ぶ

Vol. 4

#### Contents

Page1	第4回 木育ネットワーク部会 講演会
Page2	木育サポーター養成講座、みやぎきの木を使ったワークショップ
Page3	日南市子育て支援センター「ことごと」OPEN、平成 29 年度高校生木育デザインプロジェクト
Page4	事務局からのお知らせ

### 第4回 木育ネットワーク部会講演会

#### 岐阜県における木育の取り組み

講師：岐阜県木育推進協議会副理事長 長谷川 彰 氏

日時：平成 29 年 6 月 24 日 (土) 14:30 ~ 16:30

場所：県庁 7 号館 4 階 744 会議室 参加者：32 名



長谷川 彰 (はせがわ あきら)

岐阜県生まれ。定年退職後、岐阜県立森林文化アカデミーにて木育と木工を学ぶ。現在、林業家・おもちゃ作家・ぎふグッド・トイ・講座講師が参加する岐阜県木育推進協議会の副理事長として活動。その他地区自治連合会長や可見市自治連絡協議会副会長を始め、「市都市計画審議会」など 8 審議会・委員会の委員を務めている。

木育先進県である岐阜県において、どのような取り組みを行っているのか具体的な例を挙げていただきながら、お話しいただきました。

#### 岐阜県の取り組み

岐阜県ではいろいろな取り組みを行っていますが特徴があるものとして「常設版木育ひろばの設置」があります。これは児童館や子育て支援センター等へ、上限はありますが森林環境税 100%補助で木製品や木のおもちゃなどの導入を支援しています。条件として岐阜県産材を使用することとなり、これが林業関係者にも県産材を使う理解を深め、活発にする機会にもなっています。

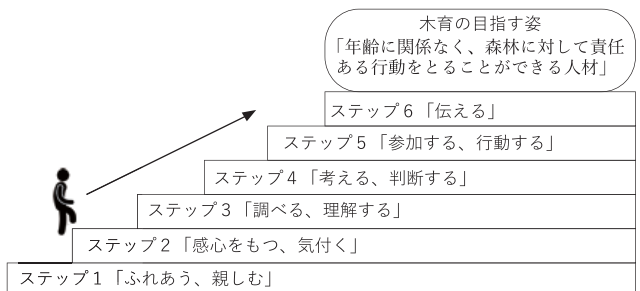
#### ぎふ木育 30 年ビジョン

##### ぎふ木育とは

食育と同じような形で実際は自分たちの生活に密接に繋がっているということを伝えていくための木育です。宮崎県の「作ろう」「知ろう」「広げよう」に「つなげよう」という言葉が加わったのが「ぎふ木育」です。次の世代まで伝えていくということが大事であると考えています。自然と共に生き、暮らし、また自然から受ける恩恵を知り、日本人の責任ある行動をとることができる人づくりを目指しています。

##### 段階的に育む

このビジョンに向け、ステップ1から6まで段階的・継続的なステップに基づき取り組んでいます。



これらを実践していくに辺り大切なのは、子どもの発達段階を踏まえたうえで伝えていき、体験させる、ということです。体験したことは忘れません。今、子育て世代の保護者が幼児期に自然体験をしている人が少なく、生きていく力が衰えています。木育とは自然体験を通じ、生きる力を養うことでもあります。ステップ1からステップ6までを体験することで木育が根付き、「つなげる」ことができると考えています。宮崎県も木育ネットワーク部会を通して議論を重ね、宮崎の木育を作っていただきたいと思っています。

#### NPO 法人岐阜県木育推進協議会の活動

私ども推進会議の活動は4つあります。「人材育成事業」「開発・普及事業」「情報・発信事業」「ネットワークづくり」です。人材育成事業は県が運営している学校や木育広場などでの指導です。開発事業で取り組んでいるのが、保育士が選んだおもちゃを考え作家に作ってもらおうというものです。また、このことが、施設の方や保育士、作家、木育推進員など様々な業種の方が集う機会となりネットワークが広がっていきます。

講演の途中、実際にプログラムでも実践しているという積木の積み上げ競争を行い、質疑応答も含め、岐阜県の取り組みについて、たっぷりとお話し頂きました。



● 参加者アンケートより ● <講演会で印象に残ったこと>  
<一部抜粋・加筆>

- ・1つの木のおもちゃでいろんな発展ができ、木育を伝えることができるということ。
- ・自然に触れることで「生きる力」を育てていく。
- ・体験することが大切であり、体験することが力になる。木育とは生きる力をつけていくこと。
- ・(岐阜県では)次世代までつなげることを意識し、発達段階をふまえたうえでいっているということ。
- ・ちょっとした知識で木の特徴を伝えていく。
- ・子供の発達段階を知ることが大切。

# 平成 29 年度 木育サポーター養成講座

講師：岐阜県木育推進協議会副理事長 長谷川 彰氏  
日時：平成 29 年 6 月 25 日 (日) 10:30 ~ 16:30  
場所：みやざきアートセンター 3 階創作アトリエ  
参加者：21 名



保育士デザイン画

講演会に引き続き、長谷川さんに木育サポーターの養成講座の講師として、午前中は講座、午後は実習を取り入れ、木育サポーターとしての知識や技術を教えて頂きました。

## 1. 講座の目的

木育の背景を知り、理解し、私達の暮らしを見つめなおすことで、なぜ木育が必要なのかを知る。

木に関するクイズに答えたり、調べたりしながら知識を深めた後、子どもにとって何が大切かを教えて頂きました。生物学者レイチェル・カーソンの言葉で「知るということは、感じることの半分も大事ではない。」とある通り、感じる事が大切であり、感じることから興味がわき、知ることにつながります。また、その時に大切なのは、子どもが感じた「こと」を一緒に共感する大人の存在が重要であるということです。成長に必要な体験としては、原体験（五感を重視した直接体験）であり、工夫や人と関わる事ができる遊びです。木育を通じ、生きる力や折れない心を育み、自然やヒト、モノ、コトのつながりを大切にすることを育みます。木育は心の教育であり、子どもも大人も必要なことです。



午後からは、子どもにのこぎりを使わせる時の指導の仕方や、サンドペーパーの使い方を学んだあと、班ごとに同じテーマ（「森のかげらのペンダントづくり」）でプログラムを組み立て、発表してもらいました。



子どもにノコギリを使わせる時は、膝をついた方が切りやすい

#150、#220、#320、#400、#600の5種類のサンドペーパーを使用しました。



長谷川先生より一人一人に認定証授与

- 参加者アンケートより ● <講演会で印象に残ったこと> <一部抜粋・加筆>
  - 木工に関する知識だけではなく、木の魅力や国内での詳しい情報について知ることができ勉強になった。
  - プログラムの立て方について勉強になった。
  - 幼児への「のこぎりの指導」が勉強になった。
  - 安全であることの大切さとその工夫の仕方が学べて良かった。
  - 木育の主旨を理解できた。
  - 他の職種の方と交流が出来て良かった。

## みやざきの木を使ったワークショップ

日時：平成 29 年 7 月 2 日 (日) 10:00 ~ 16:00  
場所：みやざきアートセンター

宮崎国際大学の守川先生、国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林整備センター、宮崎大学の学生、宮崎県立宮崎工業高校の生徒、木育サポーターが一同に集まり、それぞれが得意な木を使ったワークショップを開催しました！会場となったみやざきアートセンターの1階では、箱づくり、簡単木工、おもちゃ作り。5階では木の漢字当てクイズにどんぐり鉛筆作り、ボール転がし、木刀、パズル、キーホルダー、カスタネット作りなど、様々な体験コーナーを設けました。お客様には3つのワークショップを体験すると木のたまごがプレゼントされました。初めての試みとして開催された当イベントでしたが、指導者同士のコミュニケーションも図れ、お客様にも満足の声をいただきました。



参加者に丁寧に教えます (\*^-^\*) 準備も頑張りました！



- お客様アンケートより ● <一部抜粋・加筆>
  - 宮崎産の木材について認知度をもっとたかめてもらうためのすばらしいイベントです。
  - 今の子どもたちはゲーム、テレビばかりなので、木を使ったものづくりができて子どもも楽しかったようです。
  - パパが作ってくれて嬉しかったです。
  - 木の香りに心が癒されました。スギの木肌の柔らかさが子どものおもちゃにピッタリですね。



1階は暑い中でのイベントとなりました(;"V")



小さな参加者も真剣！

## 日南市子育て支援センター「ことこと」OPEN！



日向夏の木に、きんかんの木



魚釣りの魚は日南名物カツオにマグロ、シイラにトビウオ！



0, 1, 2歳のスペースには、スギコナミが設置されています。これは、造形作家有馬晋平さんによる作品で、油津の波のざわめき、山の静けさが表現されたものです。樹齢100~130年の宮崎の杉で作られています。小さなスギコナミとスギだまボールの球はワークショップで集まった方々が磨き上げたものです。



収穫した日向夏や、きんかん、お芋や魚は、お店屋さんで販売。このお買い物かごはワークショップで作られたかごです。



日南の風景レリーフは、かぼちゃやしいたけ、トマトなどがなっていて収穫できます♪



収穫したお野菜などは、冷蔵庫、ガスレンジがあるキッチンで料理できます(\*^^\*)



高校生の試作品が展示されています！



ロッカーの鍵もたです！

平成 29 年 4 月 8 日、日南市油津に、日南市の子育て支援センター「ことこと」が OPEN しました。「ことこと」とは、舐肥杉に囲まれ、子ども達が木のおもちゃで楽しく遊ぶ情景から「子と木」と表現された言葉や、木のおもちゃが触れ合うときの音が「ことこと」と優しく響くことから名づけられています。施設の内装や遊具・おもちゃには舐肥杉がふんだんに使われており、市民や学校、企業など様々な方々の協力のもと作り出された素晴らしい木の空間です。休憩スペースには、昨年度、高校生木育デザインプロジェクトで選ばれた「Sound House」の試作品も展示されています。

## 高校生木育デザインプロジェクト

日時：平成 29 年 7 月 15 日 (土) 11:00 ~ 16:00  
場所：南那珂森林組合 日南事業所、日南市子育て支援センター「ことこと」、日南市創客創人センター 参加者：生徒 42 名



事業所での取り組みを聞いた後は、代表で3名が実際に製材体験を行いました。



たった3年でシャッター街だった油津商店街が蘇った様子を実際に街を歩きました。このことで「デザイン」の重要性を感じた生徒もいたようです。



子育て支援センター「ことこと」ができるまでの経緯を聞いた後は、自由に遊びました。昨年度のプロジェクで制作した都城西高校生のカルタも設置されており、制作メンバーが遊んでいました。



備良品計画の小山さんのデザインとは「誰も気づかないコトを発見し提案していくことがデザインということ。パワースペース(株)の若杉さんにとってのデザインとは「喜怒哀楽、人の生きざま、本質をあらゆる表現で形に翻訳することなのではないか？」という言葉がありました。

デザイン活動および木育活動に関心のある高校生を対象として、宮崎県の循環資材である木材を使ったおもちゃを作るプロジェクト「高校生木育デザインプロジェクト」が開始しました。今年度は宮崎県立宮崎工業高等学校、宮崎県立都城西高等学校の生徒が参加します。第1回目として、南那珂森林組合 日南事業所職員より事業所での取り組みや舐肥杉についてお話し頂きました。その後は、日南市職員が油津の商店街と子育て支援センター「ことこと」を紹介してくださいました。午後からは備良品計画の小山さんとパワースペース(株)の若杉さんによるデザインについてのお話しを伺いました。今年度はあと2回の実施を予定しています。